

平成 19 年度主要事業

【水沢区】
水沢小学校北校舎大規模改修事業 4 億 8,759 万円
水沢駅内匠田線整備事業・・・1 億 5,000 万円
久田前田中線整備事業・・・7,000 万円
堀ノ内公園整備事業・・・6,000 万円

【江刺区】
強い農業づくり交付金事業・・・4 億 3,079 万円
光ネット整備事業・・・3 億円
田原保育所整備事業・・・2 億 9,006 万円
下惣田ふれあい公園整備事業・・・1 億 3,006 万円

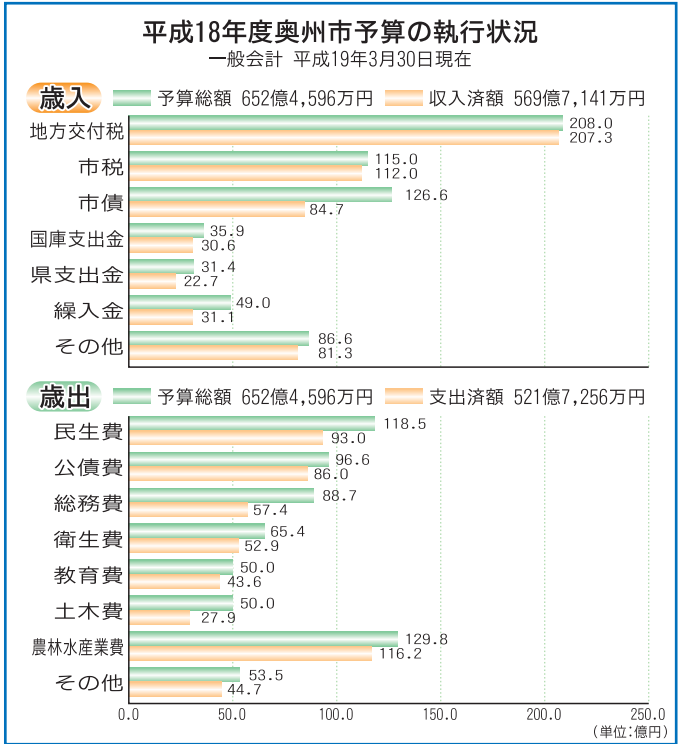
【前沢区】
前沢保育所整備事業・・・1 億 4,300 万円
まちづくり街路整備事業・・・1 億 3,500 万円
大袋養蚕団地跡地活用事業・・・7,000 万円
前沢駅東西広場整備事業・・・6,800 万円

【胆沢区】
道路側溝等整備事業・・・6,220 万円
ほ場整備事業（創設用地）・・・5,328 万円
天沢丑転線整備事業・・・5,150 万円
防災まちづくり事業・・・3,141 万円

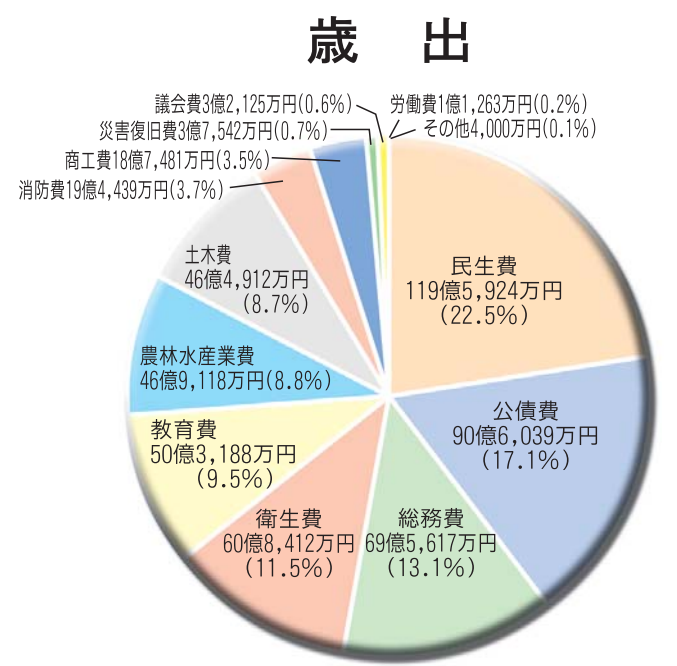
【衣川区】
衣川中学校改築事業・・・9,469 万円
関袋橋橋りょう整備事業・・・5,000 万円
衣川地区センター整備事業・・・4,357 万円
天田線整備事業・・・3,100 万円

【広域分】
旧緯度観測所本館整備活用事業・・・2 億 4,040 万円
一般廃棄物最終処分場整備事業・・・8,306 万円
長者ヶ原廃寺跡整備事業・・・6,498 万円
白鳥館遺跡整備事業・・・4,556 万円

わたしたちの税金、どんな事業に使われるの？



平成 19 年度一般会計予算



新市建設計画の実施

予算には新市建設計画の事業費として、水沢区11億4154万円、江刺区17億567万円、前沢区7億2876万円、胆沢区5億2015万円、衣川区3億160万円および広域分9億124万円の合計52億9896万円が含まれています。各自治区の19年事業費は今後、実施計画や入札などの結果によって変動すると思われるため、補正予

皆さんからお預かりする大切な税金を、計画的・効果的に執行していきます。

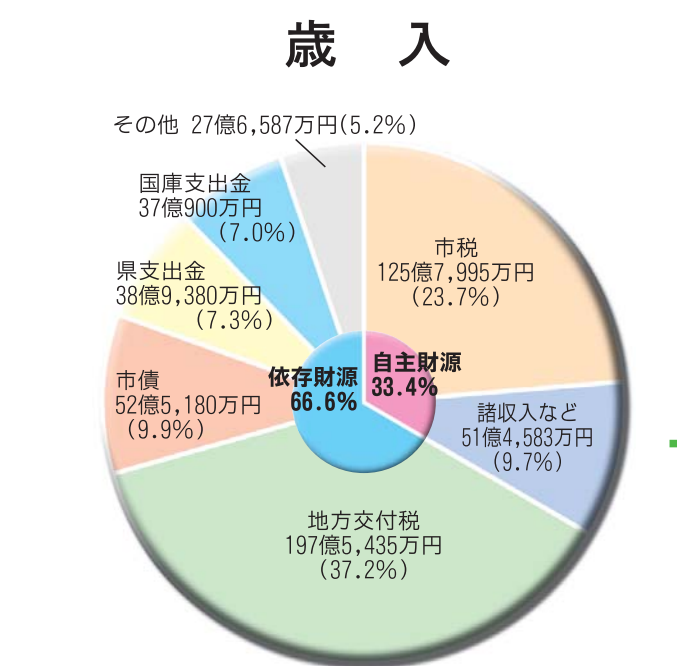
平成18年度の予算執行状況

18年度一般会計の歳入歳出予算は、18年11月30日現在で562億9854万円でしたが、岩手競馬経営改善推進事業などで増額補正をする必要が生じ、19年3月30日現在で652億4596万円となりました。予算額と収入済額569億7141万円、支出済額521億7256万円の内訳は、左のグラフのとおりです。

財政用語解説

- 市税…市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など。歳入の中心になる貴重な財源
- 地方交付税…全国の市町村が一定水準の行政サービス確保できるように、国税（所得税、酒税など）から配分されるお金
- 市債…公共施設の整備や財源不足を補うため、長期に借り入れるお金
- 県支出金…特定の事業の財源の一部として、県から支出されるお金
- 国庫支出金…特定の事業の財源の一部として、国から支出されるお金
- 諸収入など…公共施設の使用料や財産収入などのお金
- 民生費…お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金
- 公債費…市債を返済するお金
- 総務費…税務、戸籍事務などに使われるお金
- 衛生費…ごみやし尿の処理、リサイクルなどの環境対策や、保健事業などに使われるお金
- 教育費…小・中学校や幼稚園、公民館、図書館、スポーツ振興などに使われるお金
- 土木費…道路の舗装や、公園、河川の整備、市営住宅の管理などに使われるお金
- 消防費…火災予防や消火・救急救助活動に使われるお金

531 億 60 万円



市税は、三位一体改革に伴う国税から地方税への税源移譲の実施や定率減税の廃止など、税制改革による個人市民税の増加が見込まれ、11億6965万円、10・3%の大幅増となりますが、これらの税制改革に伴って、これまで交付されてきた所得譲与税が廃止されることにより、地方譲与税がほぼ同額の10億6635万円、51・4%の減となります。地方交付税については、2億9881万円、1・5%の増。市債は、前年度に比較して11億4140万円、17・9%の減となります。新規発行額は52億5180万円で、元金償還額

73億8932万円を大きく下回ります。歳入の不足分は、財政調整基金と減債基金を取り崩すこととしました。

歳出は、歳入に見合った歳出規模となるよう、人件費・物件費・補助費などの抑制に努めましたが、市民生活に直結する扶助費はほぼ前年度並みの予算額を確保しました。投資的経費は、9億266万円、15・5%の大幅増で、新市建設計画事業や凍上災害復旧事業の過年度分の実施によるものです。

年度末市債残高は、873億2146万円で、市民1人当たり（19年3月末12万9794人で計算すると、67万3000円）（18年度末68万9000円）になります。

（※）平成18年度は、合併のため4月から6月までの3カ月分の暫定予算を編成しましたので、6月議会で可決された年間予算の本予算と比較しています。

奥州市2年目のまちづくりスタート

平成 19 年度

予算と主要事業

3月市議会定例会で、平成19年度の予算が審議・可決されました。厳しい財政状況の下、創意工夫を凝らし、市民生活に密着したサービスを最優先としながら「副県都」としてふさわしい都市機能の充実を図るため、限られた財源を効果的に配分しました。本年度予算のあらましをお知らせします。

市の予算の基本

予算は、市の基本的な仕事をするために使われる一般会計、国民健康保険や下水道事業などのように特定の収入（保険料や使用料など）で支出が賄われる特別会計、病院事業や水道事業のように支出を収益で賄う企業会計の3つに分かれています。

前年度予算の0・7%減に

本年度の一般会計の総額は、531億60万円です。平成18年度本予算（※）に比べ3億6436万円、0・7%の減となりました。

平成 19 年度全会計予算額（単位：万円）				
名 称	19 年度 予算額	18 年度 予算額	増減額	対前年度 伸び率 (%)
一般会計①				
国民健康保険（事業勘定）	1,229,746	1,136,750	92,996	8.2
国民健康保険（直営診療施設勘定）	103,406	110,895	△ 7,489	△ 6.8
老人保健	1,098,422	1,316,810	△ 218,388	△ 16.6
簡易水道事業	201,693	197,083	4,610	2.3
下水道事業	382,916	383,570	△ 654	△ 0.2
農業集落排水事業	188,373	215,924	△ 27,551	△ 12.8
浄化槽事業	55,392	45,679	9,713	21.3
介護保険(保険事業勘定)	749,740	751,240	△ 1,500	△ 0.2
介護保険(サービス事業勘定)	36,873	32,922	3,951	12.0
バス事業	9,369	9,235	134	1.5
公共用地先行取得等事業	25,250	3,932	21,318	542.2
米里財産区	456	820	△ 364	△ 44.4
特別会計②				
総合水沢病院事業（収益的支出）	373,352	392,210	△ 18,858	△ 4.8
総合水沢病院事業（資本的支出）	44,423	57,565	△ 13,142	△ 22.8
国保まごころ病院（収益的支出）	100,920	101,756	△ 836	△ 0.8
国保まごころ病院（資本的支出）	11,275	6,388	4,887	76.5
水道事業（収益的支出）	175,930	178,717	△ 2,787	△ 1.6
水道事業（資本的支出）	156,742	186,203	△ 29,461	△ 15.8
国民宿舎等事業（収益的支出）	32,089	32,602	△ 513	△ 1.6
国民宿舎等事業（資本的支出）	1,200	1,434	△ 234	△ 16.3
企業会計③				
総計（①+②+③）	10,287,627	10,508,231	△ 220,604	△ 2.1